

研究課題名	腎移植レシピエント・ドナーにおけるサルコペニア、フレイルについての検討
研究の意義・目的	<p>以前の研究(承認番号 3859)により腎移植を受けられた患者さんはフレイルの頻度が一般の人より高く透析患者さんより低いこと、年齢、透析歴、腎機能が関係することがわかりました。本研究を行うことで、フレイル、サルコペニアの頻度はどのように変化するのか、生命予後や要介護などのリスクとなるのかなどについての検討を行い、得られた結果から将来的な栄養管理や運動指導などにつながる可能性があります。</p> <p>(フレイル：加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指しています)(サルコペニア：筋肉量が減少して筋力低下や、身体機能低下をきたした状態を指します。)</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2030年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	倫理委員会承認後～2029年3月に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、腎移植外来通院中の腎移植レシピエント・ドナーの方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：年齢、性別、CKD(慢性腎臓病)原疾患、内服薬、既往歴、喫煙歴</p> <p>血液検査結果：血清総コレステロール、トリグリセリド、HDLコレステロール、LDLコレステロール、血糖、HbA1c、尿中アルブミン/クレアチニン比</p> <p>その他：血圧、体重、身長</p> <p>また、この研究のために以下の項目を測定します。</p> <p>握力測定、In Body S10という機械で筋肉量の測定、質問票を用いたアンケート調査</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 研究責任者 香束 昌宏
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学</p> <p>香束 昌宏</p> <p>電話番号：(06) 6645-2121</p> <p>メールアドレス：<highspeed@med.osaka-cu.ac.jp></p>